

茶の湯の楽しみを知らう



盆略点前の準備。盆の上に鬚と、茶巾、茶笥、茶杓を仕組んだ茶碗をのせます。

茶の湯の入口は誰にでも開かれています。
まずは盆略点前で
お客をおもてなししてみませんか。

盆略点前

抹茶のほかに、どこの家庭にでもありそうな茶碗が一つ、あとは茶笥があれば、いつでもどこでも、茶を点てることができます。

自分一人で茶を点てていただくのも楽しいひとときですが、お客を招いて一服の茶をさしあげると、会話ははずみ、人をおもてなしする喜びが感じられます。その喜びこそ、茶の湯の一番大切な心だといえましょう。

約束事の道具をそろえなくても、盆略点前なら気軽に一服の茶をさしあげることができます。手ごろな盆に抹茶を入れた器、茶碗、建水、茶杓は家庭にある食器類を茶道具に見立てて使ってもかまいません。あとは茶笥と茶巾を準備しましょう。ここでは正式な形として瓶掛に鉄瓶をのせて点前を行っています。こうしたもの用意がなければポットでもかまわないのです。

◆ 盆、建水を運び出す



7 客付(客側の位置)に斜めに座り、静かに盆を置く



4 瓶掛正面に座って、盆を置く



1 建付に盆を置き、ふすまを開けて一礼する



8 建水を左手でひざ線いっぱいまで進める



5 水屋に下がり、建水を持って出て、瓶掛正面に座り、建水を置く



2 盆を水平に持ち上げ、体の正面に構え、右ひざから立ち、



9 居ずまいを正す



6 盆を持ってまわり、



3 右足で敷居を越して席に入る。畳の敷き合わせも右足で越える

● 準備

ふくさを腰につけ、懐紙、古ふくさを懐中します。

薄茶器(ここでは裏に茶を姿形よく入れておきます。

茶巾を絞ってたたみ、茶碗に入れ、茶笥を、かがり糸の結び目の上になるように茶碗に仕組み、茶杓を茶碗の右側に伏せてのせておきます。

盆に裏、茶巾、茶笥、茶杓を仕組んだ茶碗をのせ、湯をあげるための建水を用意します。

点前座は点前畳の中央に瓶掛を据え、鉄瓶をかけて、蓋の向こうを少しきつておきます。

いつでもどこでも、気軽にできるのが盆略点前の特徴です。しかもふくささばきや茶碗を清めるといった基本的な茶を点てるための所作が含まれているので、これから稽古を学ぼうとする方にも最適な点前です。

棗、茶杓を清める



9 左手で握り込むようにふくさを三つ折りにし、



5 左右に広げて上辺が横一文字になるように広げる



1 ふくさを左手で持ち、少し引き出し、



10 右手を下ろして中央から半分に折り、体の正面に持ってくる



6 左手中指以下の指をふくさの上に内側からのせ、



2 下へ折り込み、引き抜く



11 人さし指でふくさの上に「一」の字を書くようにして、



7 右手をひじから上げ、左ひざ上でふくさを縦にする



3 ひざ前中央に持っていき、上端を右手で取る



12 ふくさの端を右手で下に折り込む



8 左手の人さし指と中指ではさんだふくさの端を離し、ふくさに沿って左手を上へ上げ、



4 左手で右手の下を持ち、



21 左右に広げる



17 右ひじを軽く張りながら、親指を離してふくさを握り込み、ゆっくりと右へふき抜く



13 左手の指を抜いて、左手で下に折り込む。このとき、右手人さし指はふくさの内側に残す



22 先ほどと同様にふくさをさばく



18 左手で棗を盆の上、元の位置より左寄りに置き、



14 左手で棗を横から取りにいきながら、右手の人さし指を抜いて、



23 ふくさを左手のひらにのせ、茶杓を右手で取り、



19 ふくさを左手のひらに打ち返し、右手で上端を取り、



15 ふくさで棗の蓋を向こう、手前の順に「こ」の字を書くように清める



24 ふくさの中央にのせる



20 左手を離し、右手の下を持って、



16 ふくさを横一文字にのせて手のひらで押し広げ、軽く向こうへ突いて、



3 ふくさを折った端が下に来るようにして右手で鉄瓶の蓋の上に置き、蓋を閉める



29 三度目は初めと同じようにかい先の先端まで清め、真向こうへふき抜き、



25 ふくさを二つ折りにし、



4 左手で鉄瓶の取っ手を持ち、



30 ふくさを半円を描くようにして左ひざに構え、茶杓を盆の右手前に斜めに置く



26 かい先まで清める



5 右手のふくさで蓋を押さえながら茶碗に湯を入れる



1 茶筌を茶碗から取り、棗の右横に置き合わせる

茶筌とおしをする



27 ふくさの向きを変えながら手元に戻し、二度目は茶杓の両横を清めながら、



6 瓶掛に鉄瓶を戻す



2 茶巾を取り、盆の右横、時計の三時のところに置く



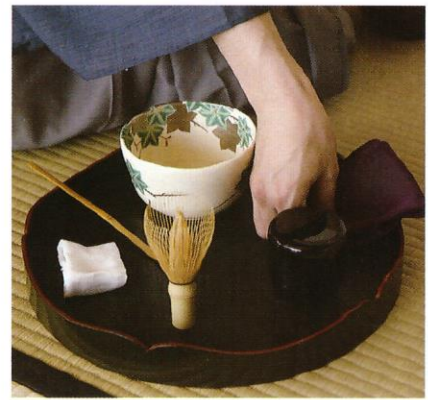
28 かい先まで清める



14 茶筌を手前にまわしながら下ろす



10 茶筌を真横にして引き上げる。ひじから内側にまわしながら穂先を調べ、



7 ふくさを盆の左縁、九時の位置で盆の縁にかけて置く



15 親指を上にして持ち、さらさらと穂先を清める



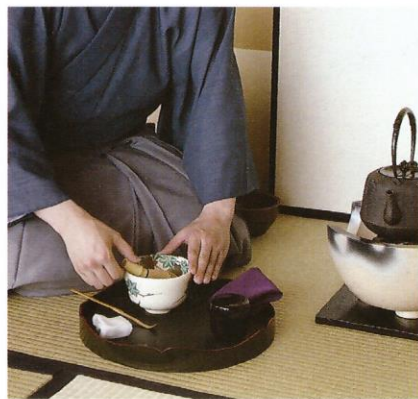
11 茶筌を茶碗の縁にあずける



亭主の側から見た道具の位置



16 「の」の字を書くようにまわし、糸のかがりが真正面になるように、左手を添えながら右手で茶筌を引き上げる



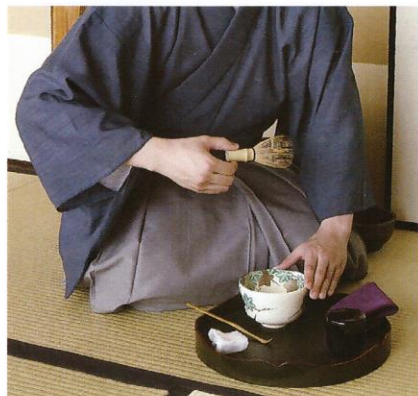
12 親指を上にして持ち替え、



8 右手で茶筌を取り、茶碗を左手で上から押さえて、茶筌を茶碗の右縁にあずける



17 茶筌を元の位置に置き、右手で茶碗を持って、



13 もう一度茶筌を引き上げ、



9 親指を上にして持ち替え、



7 親指で逆手に取って、



3 左ひざの上で三回半まわして清め、



18 左手に持ち替え、



8 茶碗の内側を「い」、続いて「り」の字を書くように清め、



4 体の正面で茶巾を抜き、ふくだめが下になるようにして、



19 湯を建水にあげる



9 ふくだめを上にして茶巾を茶碗に戻す



5 茶碗の中に入れ、



1 茶巾を右手で取り、茶碗の正面から入れる

茶碗を清める



10 右手で茶碗の右横を持ち、



6 向こうから手前へ三分の一折る



2 親指と人さし指で茶巾を取り、逆手で茶碗の縁にかける



7 棗を元の位置に戻し、



3 蓋を茶杓が置いてあったあたり、盆の縁にかけて置き、



11 そのまま盆の元の位置に置く



8 茶杓も元の位置に戻して、右手でふくさを取る



4 茶を二杓ほど茶碗に入れ、



12 茶巾を取って、盆の三時のところに戻す



9 鉄瓶を取り、蓋をふくさで押さえながら茶碗に湯を入れる



5 茶杓を持ち替え、茶碗の縁で静かに打って茶を払う

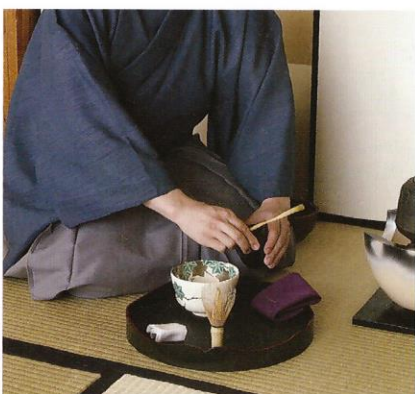


1 右手で茶杓を取り、「どうぞお菓子をと」正客にすすめる

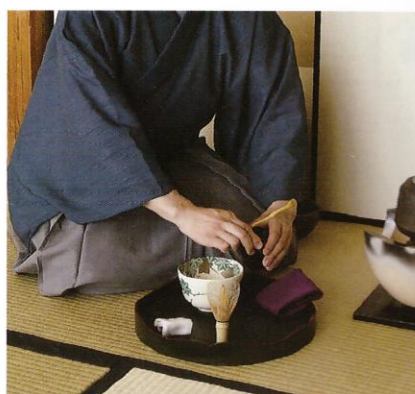
◆ 薄茶を点てる



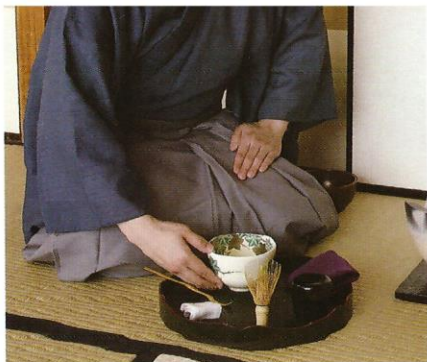
10 鉄瓶を戻し、ふくさを元の位置に置く



6 茶杓を握り込んで棗の蓋を取って、閉め、



2 左手で棗を横から持ち、右手で茶杓を握り込んで茶碗の横で棗の蓋を開け、



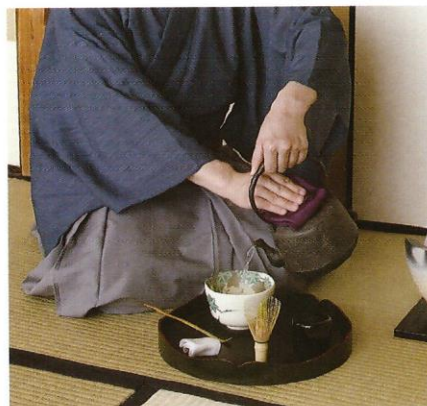
19 右手を横に持ち直し、盆に置く



15 茶碗の正面を客に向け、右手でへり外に出す



11 茶筌を右手で取り、茶を点てる



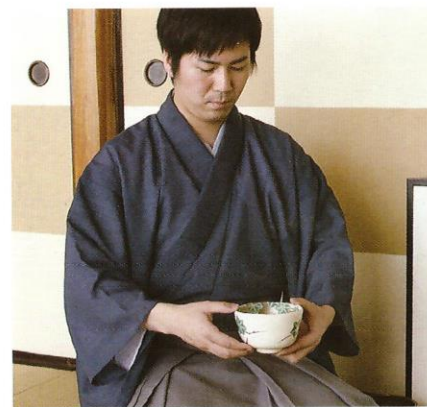
20 右手でふくさを取り、左手で鉄瓶を取って、ふくさで蓋を押さえながら茶碗に湯を入れる



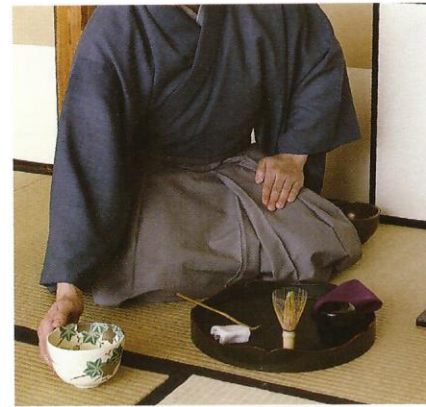
16 正客の「お点前ちょうだいいたします」のあいさつに「どうぞ」と答えて一礼する



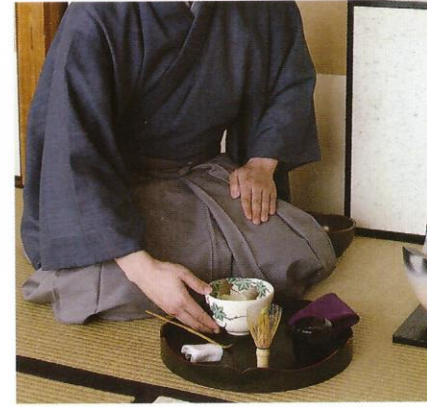
12 「の」の字を書くようにして茶筌を抜き、



21 鉄瓶とふくさを戻したあと、右手で茶碗を取り、左手に持ち替え、



17 茶碗が客から戻ると、右手で取り、



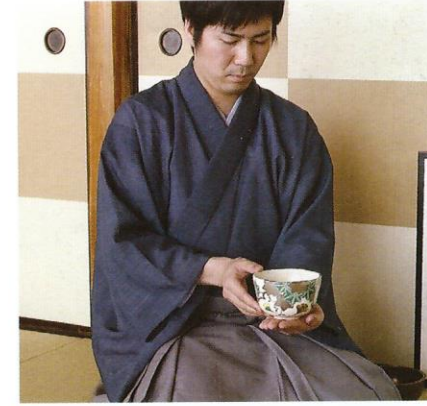
13 茶筌を元の位置に戻したあと、茶碗を右手で取り、



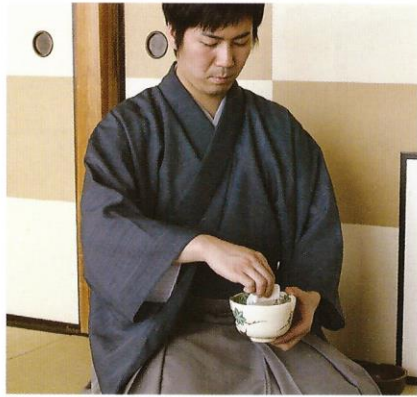
22 湯を建水にあける



18 左手のひらにのせ、



14 左手のひらにのせ、右手で向こうから手前へ二度ほどまわし、



6 右手で茶巾を取り、茶碗に戻し、



2 鉄瓶とふくさを元の位置に戻し、茶筴を取って、さらさらと穂先を清める



23 左ひざの上で茶碗を持ったまま、正客からのおしまいのあいさつを受ける



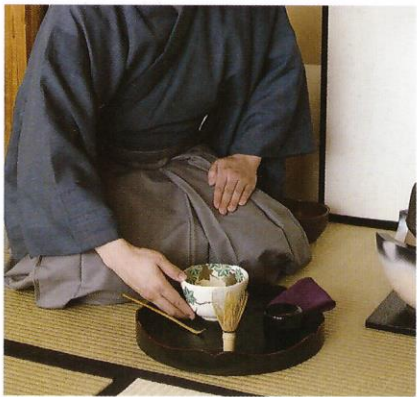
7 右手で茶碗を持ち、



3 しまいつけの茶筴とおし(一度上げ、二度あずけ)をし、



24 茶碗を右手に持ち替え、盆の上に置く



8 盆に置く



4 茶筴を盆に戻す



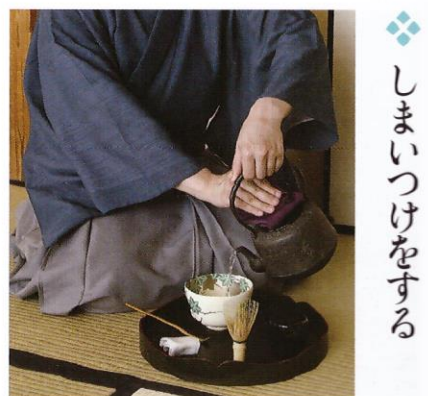
25 「おしまいにいたします」のあいさつをする



9 右手で茶筴を取り、茶碗に戻す

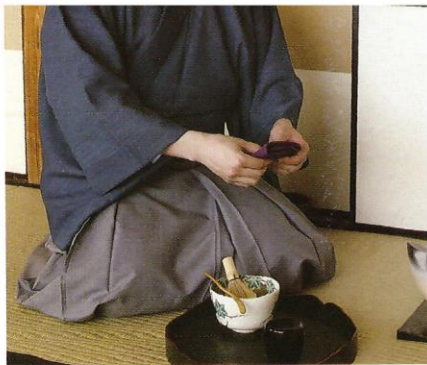


5 右手で茶碗を取り、左手に持ち替え、左手で湯を建水にあげる



1 ふくさで鉄瓶の蓋を押さえて茶碗に湯を入れる

しまいつけをする



18 ふくさを右手に持ち替えて、



14 茶杓を清め、



10 右手で茶杓を取り、左手で建水を少し引く



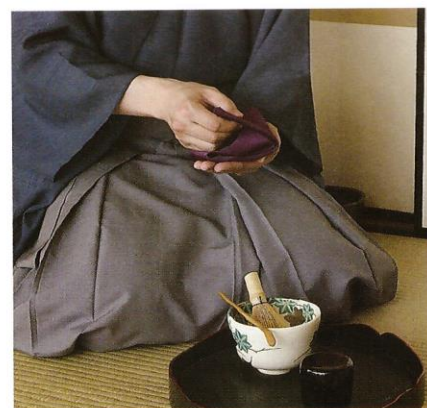
19 鉄瓶の蓋を真向こうへきる



15 茶杓を茶碗に伏せて置き、



11 茶杓を握り込んでふくさを取り、



20 ふくさを左手のひらに打ち返して、



16 右手で棗を点前の最初の位置に戻す



12 右手で左手のひらに打ち返す



21 ふくさを広げて、



17 建水の上でふくさの茶を払う



13 茶杓を握り込んだまま、ふくさをさばき、



3 右足を敷き合わせの線いっぱいまで進め、



26 盆を両手で持ち、



22 向こうへ合わせ、



4 左足を敷き合わせを越して、



27 瓶掛正面にまわり、盆を静かに置く



23 左手の指四本を上にかぶせて両端を持ち、



5 敷居も左足で越して、席を出る



1 建水を左手で持ち、左ひざを立てる

盆、建水を下げる



24 右手を下ろし、



6 水屋に建水を置いてから再び席に入り、瓶掛正面に座り、盆を両手で持ち、



2 立ち上がって左足を畳の敷き合わせの角に向かって引く(建水まわり)



25 腰につける



15 建付に盆を置いて、



11 左足で席を出て、



7 左ひざから立ち、



16 主客総礼をする



12 右足を左足にかぶせ、



8 左足を敷き合わせの、先ほどとは逆方向の角に向かって引く



13 左足を引いて、



9 右足を敷き合わせの線いっぱいまで進め、



14 両足をそろえる



10 敷き合わせを左足で越える